

B 作 況

I 畑 作 物

1. 気象概況（作物開発部 長沼町）

令和5年9月から令和6年10月までの概況は次のとおりである。

令和5年

9月～10月：平年より高温に推移し、特に9月は高温であった。降水量は平年より多かった。

11月～12月：11月は平年より高温であったが、12月は平年並であった。降水量は11月は平年より多く、12月は平年より少なく、日照時間は平年より多かった。

令和6年

1月～3月：1月は平年より高温、2月の気温は平年並、3月は最低気温が低く低温に推移した。降水量は1月、2月が平年より多く、3月は平年並であり、融雪期は平年並であった。

4月～5月：4月は平年より高温、5月は平年並であった。降水量、日照時間は平年並であった。

6月～7月：平年より高温に推移した。降水量は6月は少なく、7月は多かった。日照時間は6月がやや多く、7月は平年並であった。

8月～9月：8月は高温、9月は平年並であった。降水量は少なかった。日照時間は8月は少なく、9月は多かった。

10月：気温は平年より高温、降水量は多く、日照時間は多かった。

農耕期間の積算値から、本年の平均気温は平年比108～111%と高く、降水量は平年比85～92%と少なく、日照時間は平年よりやや多かった。根雪終（融雪剤散布）は平年並の3月25日、根雪終（通常）は平年並の3月30日で、積雪期間が平年より4日短い109日であった。降雪終は平年より1日遅い4月9日であった。耕鋤始は平年より5日遅い4月15日であった。晩霜は平年より20日遅い5月9日であった。初霜は平年より3日早い10月17日であり、無霜期間は平年より21日短い162日となった。降雪始は平年並の11月7日であった。

2. 気象表

道総研中央農試（アメダス長沼）

年	月	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	平年比%	本年	平年	平年比%	本年	平年	平年比%
令和5年 (2023)	9月	20.4	17.4	3.0	25.4	22.5	2.9	16.1	12.8	3.3	153	127	120	13	11	119	131	169	78
	10月	12.0	10.7	1.3	17.4	15.7	1.7	7.0	5.7	1.3	140	96	145	12	14	85	173	146	119
	11月	5.7	4.1	1.6	10.2	8.3	1.9	1.1	-0.2	1.3	91	80	114	15	15	103	113	104	108
	12月	-2.2	-2.7	0.5	1.8	1.1	0.7	-6.6	-7.4	0.8	32	59	54	14	14	100	126	95	132
令和6年 (2024)	1月	-4.6	-6.2	1.6	-0.5	-1.8	1.3	-9.8	-11.6	1.8	61	54	112	15	15	101	92	107	86
	2月	-4.4	-4.9	0.5	0.0	-0.5	0.5	-8.9	-10.4	1.5	51	43	117	15	14	106	120	120	100
	3月	-1.5	0.9	△ 2.4	3.3	5.1	△ 1.8	-7.0	-3.6	△ 3.4	45	48	94	13	11	116	190	174	109
	4月	9.1	6.6	2.5	14.4	11.9	2.5	4.9	1.5	3.4	54	59	91	8	10	81	186	197	95
	5月	13.0	12.3	0.7	18.2	18.0	0.2	7.7	7.5	0.2	65	64	101	13	12	113	202	204	99
	6月	18.0	16.1	1.9	23.3	21.0	2.3	14.0	12.3	1.7	43	114	38	9	11	84	182	161	113
	7月	22.4	20.6	1.8	27.4	25.4	2.0	18.8	17.2	1.6	150	81	184	15	9	160	171	167	103
	8月	23.9	21.6	2.3	28.5	26.1	2.4	20.6	18.1	2.5	125	185	68	14	13	109	132	149	89
	9月	18.6	17.8	0.8	24.5	22.9	1.6	13.2	13.1	0.1	92	117	79	7	11	64	201	167	120
	10月	12.7	10.7	2.0	17.9	15.8	2.1	6.7	5.7	1.0	136	100	136	10	14	71	173	152	114

注1)気象データはアメダス長沼。
注2)平年値は過去10年間の平均値。注3)最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。
注4)降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウントした。注5)△は減を示す。

3. 季節表

	初霜	根雪始	融雪剤 根雪終*	通常の 根雪終	積雪期間 (日)	降雪終	耕鋤始	晩霜	初霜	無霜期間	降雪始
本年 (年)	2023	2023	2024	2024		2024	2024	2024	2024		2024
(月/日)	10/30	12/13	3/25	3/30	109	4/9	4/15	5/9	10/17	162	11/7
平年	10/19	12/8	3/25	3/30	113	4/8	4/10	4/19	10/20	183	11/7
比較	11	5	0	0	△ 4	1	5	20	△ 3	△ 21	0

注1) 平年値は中央農試における前年まで10年間の平均値を用いた。ただし、「*」は、融雪剤を散布しなかった2015年の数値がなく9カ年平均値。
注2) 積雪期間の平年値にはうるう年を含むため、根雪始・終の差と一致しない。

4. 農耕期間の積算値

項目 期間		平均気温 (℃)	最高気温 (℃)	最低気温 (℃)	降水量 (mm)	降水日数 (日)	日照時間 (hr)
4～10 月	本年	3,601	4,713	2,632	664	76	1,247
	平年	3,234	4,312	2,317	719	79	1,196
	比較	367	401	315	△ 55	△ 3	51
	平年比%	111	109	114	92	96	104
5～9 月	本年	2,937	3,730	2,277	474	58	888
	平年	2,708	3,471	2,097	560	55	847
	比較	229	259	180	△ 86	3	40
	平年比%	108	107	109	85	105	105

注1) ラウンドの関係で上の月別値の合計とは合わない場合がある。

5. 耕種概要

	一区面積 (㎡)	反復	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	一株本数	播種粒数 (粒/㎡)	株数 (株/10a)
秋まき小麦	9.6	4	ひまわり	20	条播	—	200	—
春まき小麦	4.8	4	ひまわり	20	条播	—	340	—
大豆	8.4	3	デントコーン	60	20	2	—	8,333
小豆	8.4	3	デントコーン	60	20	2	—	8,333
ばれいしょ	10.8	3	エン麦	75	30	—	—	4,444

	10a当たり施肥量(kg)					備考
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥	
秋まき小麦	4.0+6.0+4.0	8.0	4.0	0.8	—	N:基肥4+起生期6(4/3)+止葉期4(5/16)
春まき小麦	10.0	18.0	12.0	5.0	—	
大豆	1.5	12.5	6.5	3.5	—	
小豆	4.2	16.8	9.8	3.5	—	
ばれいしょ	10.4	16.4	13.6	—	1000kg	

平成13年度より、すべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。

6. 作 況

(1) 秋まき小麦(令和5年播種) 作況：良
 事由：出芽期は平年より6日遅い10月1日であった。出芽後の生育は順調で、越冬前後の茎数は、播種期が遅かったことにより、平年より少なかった。積雪期間は平年より4日短い109日であった。雪腐病による冬損程度は平年より少なかった。融雪

後高温に経過したため生育は平年より早く進み、出穂期は平年より5日早い5月28日であった。成熟期における稈長は平年より長く、穂長および穂数は平年並であった。成熟期は平年より3日早い7月14日であった。子実重は918kg/10aで平年比109%であった。千粒重および容積重は平年並であった。検査等級は1等で平年並であった。

項目 \ 年次		きたほなみ		
		本年	平年	比較
播種期	(R5.月.日)	9.25	9.17	8
出芽期	(R5.月.日)	10.1	9.25	6
出穂期	(R6.月.日)	5.28	6.2	△ 5
成熟期	(R6.月.日)	7.14	7.17	△ 3
冬損程度	(0:無～5:甚)	0.0	0.6	△ 0.6
草 丈 (cm)	R5.10.20	14.6	20.3	△ 5.7
	R6.5.20	66.9	53.4	13.5
	R6.6.20	104.6	99.8	4.8
茎 数 (本/㎡)	R5.10.20	469	662	△ 193
	越冬前(11月)	1000	1281	△ 281
	越冬後(4月)	1834	1925	△ 91
	R6.5.20	1279	1325	△ 46
	R6.6.20	834	837	△ 3
成熟期に おける	稈長 (cm)	97	88	8
	穂長 (cm)	9.4	9.2	0.2
	穂数 (本/㎡)	808	803	5
倒伏程度	(0:無～5:甚)	0.1	0.1	0.0
子実重	(kg/10a)	918	844	74
容積重	(g)	839	830	9
千粒重	(g)	39.8	39.1	0.7
品質	(等級)	1等	1等	－
子実重平年対比 (%)		109	100	9

注1) 令和5年播種より、播種量および追肥量を変更した(下線)。

播種粒数: 200粒/㎡、施肥: 基肥4kg/10a

追肥: 起生期(翌年4月頃) 硫安6kg/10a、止葉期(翌年5月頃) 硫安4kg/10a。

平年値: 変更後の播種粒数および追肥量による平年値を記載。

前7か年中、令和5年(最豊)、平成30年(最凶)を除く5か年平均(収穫年度)

5月20日、6月20日の草丈および茎数は令和2年を除く4か年平均。

注2) △は平年より早、短、少を表す。

注3) 倒伏程度: 成熟期における倒伏程度。

注4) 容積重はブラウエル穀粒計により測定した値。

(2) 春まき小麦 作況：良

事由：本年の根雪終（融雪剤散布）は、平年並の3月25日であった。播種期は平年並の4月15日であった。播種期以降、平均気温は平年並からやや高く、適度な降雨もあり、出芽期は平年より3日早かった。その後も生育が進み、5月20日時点における草丈、茎数とも平年を上回った。5月第5半旬から6月第1半旬は低温で経過したが、6月第2半旬から第4半旬は高温で経過し、出穂期は平年より2日早かった。開花期となった6月第4半旬は日照時間も平年並で経過し、開花は概ね斉一であった。6月20日時点の草丈は平年を上回り茎数は平年を下回ったが、分けつ茎の多くは有効穂となってお

り、生育は進んだ。登熟期間における日照時間は平年を上回り、少雨で経過したことから、赤かび病の発生はごくわずかであり、倒伏の発生は認められなかった。7月下旬は高温で経過し、成熟期は平年より4～5日早かった。成熟期における稈長および穂長は平年よりやや長かった。千粒重は平年並からやや軽く、登熟日数は平年より2～3日短かったが、穂揃いは概ね斉一で、穂数は平年より14～15%多かった。子実重は平年比125～139%と平年を大きく上回った。容積重は平年並で、子実の外観は粉状質粒が散見されたが概ね良好であり、検査等級は平年並の1等であった。

品種名		春よ恋			はるきりり		
項目	年次	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.15	4.15	0	4.15	4.15	0
出芽期	(月.日)	4.25	4.28	△ 3	4.26	4.29	△ 3
出穂期	(月.日)	6.14	6.16	△ 2	6.12	6.14	△ 2
成熟期	(月.日)	7.25	7.29	△ 4	7.27	8.01	△ 5
草 丈	5月20日	33.4	21.8	11.6	34.9	24.6	10.3
(cm)	6月20日	97	82	15	101	82	19
茎 数	5月20日	1021	719	302	1011	665	346
(本/㎡)	6月20日	680	735	△ 55	679	726	△ 47
7月20日 稈長	(cm)	95	92	3	94	89	5
または 穂長	(cm)	9.3	8.5	0.8	8.7	7.8	0.9
成熟期 の 穂数	(本/㎡)	554	484	70	569	494	75
子実重	(kg/10a)	638	460	178	660	527	133
千粒重	(g)	40.0	40.2	△ 0.2	43.3	44.3	△ 1.0
容積重	(g)	828	824	4	830	826	4
品質	(等級)	1等	1等	—	1等	1等	—
子実重平年対比	(%)	139	100	39	125	100	25

注) 平年値: 前7か年中、令和2年(最豊)、令和5年(最凶)を除く5か年平均。

(3) 大豆 作況：良

事由：播種期は平年並の5月20日であった。播種後降雨により地表面がクラスト化したため、出芽期は平年より2日遅い6月3日であった。6月に入り高温に経過したことから、開花期は平年より1日早い7月12日であった。7月下旬～8月が高温傾向であり、7月下旬の降水量が多く、着莢は順調であった。9月中下旬の気温は平年並に推移したこと

から、成熟期は平年並であった。主茎長は平年よりやや短く、主茎節数および分枝数は平年並であった。一莢内粒数はやや多く、百粒重は平年より2.6g重く、着莢数が平年比113%と多かったことから、子実重は平年比126%と多収となった。裂皮が多く発生したことから、等級は特定加工用合格であった。

品種名		トヨムスメ		
項目	年次	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.20	5.20	0
出芽期	(月.日)	6.3	6.1	2
開花期	(月.日)	7.12	7.13	△1
成熟期	(月.日)	9.29	9.28	1
主茎長 (cm)	6月20日	9.5	10.9	△1.4
	7月20日	49.2	46.3	2.9
	8月20日	52.4	53.8	△1.4
	9月20日	52.0	53.6	△1.6
	成熟期	52.4	53.2	△0.8
主茎節数 (節)	6月20日	3.1	3.2	△0.1
	7月20日	9.6	9.4	0.2
	8月20日	8.9	9.7	△0.8
	9月20日	9.4	9.6	△0.2
	成熟期	9.6	9.4	0.2
分枝数 (本/株)	7月20日	5.9	5.8	0.1
	8月20日	7.4	6.3	1.1
	9月20日	6.4	6.2	0.2
	成熟期	6.2	6.2	0.0
着莢数 (莢/株)	8月20日	83.1	77.4	5.7
	9月20日	76.7	69.3	7.4
	成熟期	80.5	71.4	9.1
一莢内粒数		1.92	1.87	0.05
子実重	(kg/10a)	527	418	109
百粒重	(g)	40.7	38.1	2.6
屑粒率	(%)	0.4	2.0	△1.6
品質	(等級)	合格	2中	
子実重平年対比 (%)		126	100	26

注) 平年値は前7カ年中、平成30年(最凶)、令和3年(最豊)を除く5カ年平均。

(4) 小豆 作況：不良

事由：播種期は平年より 1 日早い 5 月 22 日であった。出芽期は平年より 2 日早い 6 月 10 日であった。出芽後は高温に経過し、生育が早く進んだ結果、開花期は、平年より 7 日早い 7 月 18 日であった。開花期後も高温傾向であったが、7 月下旬から 8 月上旬にかけては寡照であったことから、やや徒長し主茎長が長くなった。登熟期間中も高温で経過し

たことから、成熟期は平年より 10 日早い 9 月 6 日であった。主茎長は平年より長く、主茎節数はやや多く、分枝数は少なかった。着莢数および一莢内粒数は平年並であった。子実重は 278kg/10a で、平年比 83%であった。百粒重は平年より軽かった。濃赤粒が見られ、子実の粒色ムラが生じたことから、屑粒率は平年より高く、検査等級は平年より劣る 3 等下であった。

品種名		エリモ167		
項目	年次	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.22	5.23	△ 1
出芽期	(月.日)	6.10	6.12	△ 2
開花期	(月.日)	7.18	7.25	△ 7
成熟期	(月.日)	9.06	9.16	△ 10
主茎長 (cm)	6月20日	4.6	4.6	△ 0.0
	7月20日	22.3	19.3	3.0
	8月20日	70.9	49.1	21.8
	成熟期	71.7	55.9	15.8
主茎節数 (節)	6月20日	2.2	1.6	0.6
	7月20日	10.0	7.5	2.5
	8月20日	16.9	13.9	3.0
	成熟期	15.5	14.1	1.4
分枝数 (本/株)	7月20日	3.3	3.3	0.0
	8月20日	4.0	3.8	0.2
	成熟期	3.0	4.8	△ 1.8
着莢数 (莢/株)	8月20日	68.5	38.8	29.7
	成熟期	46.6	49.1	△ 2.5
一莢内粒数		6.06	5.90	0.16
子実重	(kg/10a)	278	335	△ 57
百粒重	(g)	12.1	14.7	△ 2.6
屑粒率	(%)	12.5	5.0	7.5
品質	(等級)	3下	3中	-
子実重平年対比	(%)	83	100	△17

注1) 本年より、平年値含めて「エリモ167」に変更した。

注2) 平年値は前7カ年中、平成29年（最豊）、令和5年（最凶）を除く5カ年平均。

(5) ばれいしょ 作況：やや不良

事由：本年の根雪終（融雪剤無散布）は平年並の 3 月 30 日で、植付期は平年より 6 日遅い 4 月 30 日であった。植付期以降の平均気温は平年並から高く推移し、萌芽期は平年より 2 日早い 5 月 19 日、開花始は平年より 1 日早い 6 月 16 日であった。6 月下旬以降、高温少雨で経過し、7 月第 3 半旬から茎葉の黄化が始まり、一部の個体で倒伏の発生が認められた。7 月下旬から 8 月中旬にかけて、高温寡照で経過し、7 月下旬は多雨、8 月上旬～中旬は干ばつ傾向となった。7 月 20 日時点で茎長および

茎数は概ね平年並であったが、7 月下旬に大半の個体が倒伏したことから、茎葉の枯凋はやや緩慢となった。8 月第 2 半旬以降、一部の茎葉で二次生長が生じたことから、枯凋期は平年より 11 日遅い 8 月 30 日であった。枯凋期における株当たりの上いも数は平年を上回ったが、上いも平均一個重は平年を下回った。上いも重は平年比 98%と平年並であるが、中以上いも重は平年比 87%であった。でん粉価は平年を下回った。塊茎の一部において、こぶ型や萌芽型の二次生長が認められた。

品種名		男爵薯		
項目	年次	本年	平年	比較
植付期	(月.日)	4.30	4.24	6
萌芽期	(月.日)	5.19	5.21	△ 2
開花始	(月.日)	6.16	6.17	△ 1
枯凋期	(月.日)	8.30	8.19	11
茎長	6月20日	34	34	0
(cm)	7月20日	40	42	△ 2
茎数	6月20日	4.9	4.9	0.0
(本/株)	7月20日	5.1	5.0	0.1
8月20日における				
上いも数	(個/株)	14.6	12.7	1.9
上いも平均一個重(g)		73	83	△ 10
上いも重	(kg/10a)	4728	4659	69
でん粉価	(%)	14.7	15.4	△ 0.7
枯凋期における				
上いも数	(個/株)	15.3	12.9	2.4
上いも平均一個重(g)		70	86	△ 16
上いも重	(kg/10a)	4744	4823	△ 79
中以上いも重(kg/10a)		3454	3989	△ 535
でん粉価	(%)	14.0	15.3	△ 1.3
上いも重平年対比 (%)		98	100	△ 2
中以上いも重 "	(%)	87	100	△ 13
でん粉価 "	(%)	92	100	△ 8

注) 平年値は前7か年中、平成30年(最凶)、令和5年(最豊)を除く5か年平均。

ただし、枯凋期は二次生長が多発した令和3年も除く4か年平均。

「上いも」は20g/個以上、「中以上いも」は60g/個以上。

(6) 中央農試作況報告について

平成 13 年度より、すべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。当報告は、中央農業試験場のほ場において行った生育調査について、調査時点における値を中央農業試験場の平年値と比較したものであり、当該管内の作況を代表するものではない。

Ⅱ 水 稲

1. 気象概況

本年の根雪終は4月3日で平年より1日遅く、降雪終は4月9日で平年より12日早く、晩霜は5月9日で平年より11日遅かった。

4月：平均気温は9.5℃で平年より2.6℃高く、降水量は平年の72%、日照時間は平年の93%であった。

5月：平均気温は13.4℃で平年より0.2℃高く、降水量は平年の92%、日照時間は平年の101%であった。

6月：平均気温は18.4℃で平年より1.7℃高く、降水量は平年の53%、日照時間は平年の119%であった。

7月：平均気温は22.7℃で平年より1.3℃高く、降水量は平年の120%、日照時間は平年の99%であった。

8月：平均気温は23.9℃で平年より2.0℃高く、降水量は平年の112%、日照時間は平年の86%であった。

9月：平均気温は18.5℃で平年より0.6℃高く、降水量は平年の77%、日照時間は平年の125%であった。

10月：平均気温は12.6℃で平年より1.8℃高く、降水量は平年119%、日照時間は平年の114%であった。

農耕期間の5月から9月までの積算値は、平均気温が平年の106%、降水量は平年の93%、日照時間は平年の106%であった。

本年の初霜は10月21日で平年より3日遅く、降雪始は11月6日で平年より7日遅かった。

2. 作況：良

事由：播種は平年より1日遅い4月18日に行った。

出芽期は平年より2～3日遅く、出芽後は、5月第2半旬を除いて高温で経過した。移植は平年より1日遅い5月20日に行った。移植時の苗形質は、草丈は平年より長く、主稈葉数は平年よりやや多く、苗の充実度(地上部乾物重/草丈)は平年よりやや下回った。

移植直後の5月第5半旬から6月第1半旬まで低温・寡照で経過したことから、生育は停滞し、葉の黄化や下位葉の葉先枯れが生じた。6月第2半旬以降は高温・多照で経過したことから生育は回復し、幼穂形成期は平年並から1日遅かった。7月第5半旬まで高温に経過したため、止葉期は平年並から1日早く、出穂期は平年より2～5日早く、穂揃日数は平年より0.4～1.4日短かった。7月第6半旬～8月第1半旬を除いて、9月上旬まで継続して高温に経過し、成熟期は平年より4日早かった。登熟日数は「なな

つぼし」で平年より2日短く、「ゆめぴりか」では1日長かった。

稈長は69.5～74.1cmで平年より長く、穂長は15.8～15.9cmで平年並であり、穂数は553～688本/㎡と平年よりやや少なかった。一穂粒数は平年より14～18%多く、㎡あたり粒数は31,600～33,200粒で平年より3～13%多かった。稈実歩合は平年並で、㎡あたり稈実粒数は平年より5～15%多く、登熟歩合は平年並で、㎡あたり登熟粒数は28,300～28,700粒で平年より3～11%多かった。

わら重、精粒重はそれぞれ平年比111～118%、119～120%であり、粒摺歩合は平年より0.5～1.6ポイント低く、屑米歩合は平年より0.7～1.6ポイント高かった。精玄米千粒重は平年より0.2～0.3g軽かった。穂数は平年よりやや少なかったが、一穂粒数が平年より多く、㎡あたり登熟粒数が平年より多かったため、精玄米重は63.7～68.6kg/aと平年を上回り、収量平年比は117～118%と多収を示した。検査等級は1等で平年を上回った。

以上により、本年の作況は、良である。

気象表

月旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)				降水日数(日)			日照時間(h)			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比%	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比%
4月上旬	6.1	4.7	1.4	11.9	9.5	2.4	1.0	0.1	0.9	2.5	12.5	△ 10.0		4.0	4.5	△ 0.5	84.4	64.6	19.8	
中旬	11.2	6.7	4.5	17.1	12.0	5.1	6.0	1.6	4.4	8.5	25.4	△ 16.9		5.0	4.0	1.0	53.1	65.7	△ 12.6	
下旬	11.2	9.2	2.0	16.3	15.1	1.2	6.6	3.4	3.2	24.5	11.1	13.4		4.0	3.6	0.4	52.1	74.2	△ 22.1	
5月上旬	11.4	11.4	0.0	17.1	17.1	0.0	5.3	6.3	△ 1.0	19.0	19.9	△ 0.9		3.0	4.5	△ 1.5	79.1	61.6	17.5	
中旬	15.9	12.9	3.0	21.1	18.8	2.3	9.8	7.7	2.1	23.0	28.0	△ 5.0		2.0	3.6	△ 1.6	89.5	70.8	18.7	
下旬	12.9	15.0	△ 2.1	17.3	20.8	△ 3.5	8.5	9.8	△ 1.3	30.0	30.2	△ 0.2		4.0	3.8	0.2	45.3	79.5	△ 34.2	
6月上旬	15.5	15.6	△ 0.1	21.0	21.3	△ 0.3	11.5	10.8	0.7	12.0	32.9	△ 20.9		7.0	3.3	3.7	75.4	62.7	12.7	
中旬	19.8	16.4	3.4	25.0	21.4	3.6	15.4	12.6	2.8	16.5	37.5	△ 21.0		2.0	4.1	△ 2.1	64.1	53.5	10.6	
下旬	19.8	18.2	1.6	25.6	23.4	2.2	15.0	14.2	0.8	26.5	33.3	△ 6.8		3.0	3.6	△ 0.6	62.8	54.3	8.5	
7月上旬	20.9	19.7	1.2	25.6	25.1	0.5	16.8	15.7	1.1	14.0	31.1	△ 17.1		3.0	3.5	△ 0.5	52.4	58.3	△ 5.9	
中旬	23.5	21.3	2.2	29.4	26.5	2.9	18.7	17.6	1.1	1.0	33.8	△ 32.8		4.0	2.9	1.1	88.8	59.3	29.5	
下旬	23.6	22.9	0.7	28.0	27.9	0.1	20.6	19.2	1.4	99.0	29.9	69.1		4.0	3.3	0.7	42.3	67.6	△ 25.3	
8月上旬	24.1	23.2	0.9	28.7	28.2	0.5	20.9	19.5	1.4	67.5	61.6	5.9		6.0	3.7	2.3	39.4	57.1	△ 17.7	
中旬	24.2	21.4	2.8	29.4	26.0	3.4	20.6	17.9	2.7	14.0	83.1	△ 69.1		2.0	4.7	△ 2.7	52.8	46.0	6.8	
下旬	23.5	21.1	2.4	27.6	25.9	1.7	19.8	17.1	2.7	142.0	54.9	87.1		3.0	4.8	△ 1.8	46.4	58.0	△ 11.6	
9月上旬	21.7	20.4	1.3	27.7	25.5	2.2	16.1	16.1	0.0	10.0	29.3	△ 19.3		4.0	2.9	1.1	89.7	60.9	28.8	
中旬	17.9	17.4	0.5	23.5	22.5	1.0	12.9	13.1	△ 0.2	46.0	59.8	△ 13.8		5.0	4.4	0.6	52.1	52.1	0.0	
下旬	15.8	15.9	△ 0.1	21.6	21.5	0.1	11.0	10.9	0.1	35.0	29.3	5.7		3.0	3.5	△ 0.5	73.3	59.3	14.0	
10月上旬	14.6	13.3	1.3	19.2	18.1	1.1	9.9	8.9	1.0	55.0	53.5	1.5		5.0	5.0	0.0	49.8	45.8	4.0	
中旬	12.5	10.4	2.1	18.1	15.3	2.8	5.6	5.8	△ 0.2	58.5	40.8	17.7		5.0	5.9	△ 0.9	65.9	50.7	15.2	
下旬	11.0	8.8	2.2	15.9	13.6	2.3	5.7	4.2	1.5	33.5	29.2	4.3		5.0	5.0	0.0	51.3	49.9	1.4	
4月	9.5	6.9	2.6	15.1	12.2	2.9	4.5	1.7	2.8	35.5	49.0	△ 13.5	72	13.0	12.1	0.9	189.6	204.5	△ 14.9	93
5月	13.4	13.2	0.2	18.5	19.0	△ 0.5	7.9	8.0	△ 0.1	72.0	78.1	△ 6.1	92	9.0	11.9	△ 2.9	213.9	211.9	2.0	101
6月	18.4	16.7	1.7	23.9	22.0	1.9	14.0	12.5	1.5	55.0	103.7	△ 48.7	53	12.0	11.0	1.0	202.3	170.5	31.8	119
7月	22.7	21.4	1.3	27.7	26.5	1.2	18.8	17.6	1.2	114.0	94.8	19.2	120	11.0	9.7	1.3	183.5	185.2	△ 1.7	99
8月	23.9	21.9	2.0	28.5	26.7	1.8	20.4	18.1	2.3	223.5	199.6	23.9	112	11.0	13.2	△ 2.2	138.6	161.1	△ 22.5	86
9月	18.5	17.9	0.6	24.3	23.2	1.1	13.3	13.4	△ 0.1	91.0	118.4	△ 27.4	77	12.0	10.8	1.2	215.1	172.3	42.8	125
10月	12.6	10.8	1.8	17.7	15.6	2.1	7.0	6.2	0.8	147.0	123.5	23.5	119	15.0	15.9	△ 0.9	167.0	146.4	20.6	114

注1) データは「アメダス岩見沢」を使用し、平年値は前10ヶ年の平均値を用いた。

注2) 表中の気温は期間内の平均を示し、降水量と日照時間は期間内の積算値を示した。

季節表 (年. 月. 日)

区別	初 霜	根雪始	根雪終	降雪終	耕 鋤 始	晩 霜	初 霜	降雪始
本年	R5. 10.24	R5. 12.11	R6. 4.3	R6. 4.9	R6. 5.2	R6. 5.9	R6. 10.21	R6. 11.6
平年	10.17	11.30	4.2	4.21	5.3	4.28	10.18	10.30
比較	7	11	1	△ 12	△ 1	11	3	7

注) 平年値は前10ヶ年の平均値を用いた。

農耕期間(5月～9月)積算値

区別	平均気温(℃)	降水量(mm)	日照時間(h)
本年	2,967	556	953
平年	2,790	595	901
比較	178	△ 39	52
平年比%	106	93	106

注) データは「アメダス岩見沢」を使用し、平年値は前10ヶ年の平均値を用いた。

品種名 苗種		ななつぼし 中苗			ゆめぴりか 中苗		
年次		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月・日)	4.18	4.17	1	4.18	4.17	1
出芽期	(月・日)	4.26	4.23	3	4.25	4.23	2
移植期	(月・日)	5.20	5.19	1	5.20	5.19	1
幼穂形成期	(月・日)	6.30	6.29	1	6.30	6.30	0
止葉期	(月・日)	7.16	7.16	0	7.16	7.17	△ 1
出穂期	(月・日)	7.23	7.25	△ 2	7.21	7.26	△ 5
成熟期	(月・日)	9.05	9.09	△ 4	9.06	9.10	△ 4
穂揃日数	(日)	5.0	6.4	△ 1.4	6.0	6.4	△ 0.4
登熟日数	(日)	44	46	△ 2	47	46	1
生育日数	(日)	140	145	△ 5	141	146	△ 5
草丈(cm)	移植時	14.0	10.3	3.7	15.0	10.4	4.6
茎数(本/個体)	移植時	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0
主稈葉数(枚)	移植時	3.3	3.1	0.2	3.8	3.3	0.5
第1葉鞘高(cm)	移植時	2.8	2.8	0.0	2.7	2.5	0.2
地上部乾物重(g/100本)	移植時	2.22	2.20	0.02	2.62	2.25	0.37
地上部乾物重/草丈	移植時	0.16	0.21	△ 0.05	0.17	0.22	△ 0.05
草丈	6月20日	28.7	28.5	0.2	30.1	28.5	1.6
(cm)	7月20日	73.3	71.0	2.3	73.4	70.5	2.9
茎数	6月20日	328	329	△ 1	352	392	△ 40
(本/㎡)	7月20日	793	648	145	899	771	128
主稈	6月20日	7.1	7.1	0.0	7.9	7.4	0.5
葉数	7月20日	10.9	10.1	0.8	11.2	10.5	0.7
(枚)	止葉	11.1	10.1	1.0	11.3	10.5	0.8
稈長	(cm)	74.1	65.7	8.4	69.5	64.2	5.3
穂長	(cm)	15.8	16.1	△ 0.3	15.9	16.8	△ 0.9
穂数	(本/㎡)	553	613	△ 60	688	721	△ 33
一穂粒数	(粒/本)	57.1	50.1	7.0	48.3	40.8	7.5
粒数	(千粒/㎡)	31.6	30.7	0.9	33.2	29.4	3.8
稈実歩合	(%)	95.1	93.5	1.6	94.8	93.4	1.4
稈実粒数	(千粒/㎡)	30.1	28.7	1.4	31.5	27.5	4.0
登熟歩合	(%)	89.6	89.2	0.4	86.5	87.7	△ 1.2
登熟粒数	(千粒/㎡)	28.3	27.4	0.9	28.7	25.8	2.9
粒摺歩合	(%)	78.0	78.5	△ 0.5	73.6	75.2	△ 1.6
屑米歩合	(%)	5.1	4.4	0.7	9.3	7.7	1.6
精玄米千粒重	(g)	22.7	22.9	△ 0.2	23.1	23.4	△ 0.3
わら重	(kg/a)	68.2	61.7	6.5	73.3	62.1	11.2
精粒重	(kg/a)	87.9	74.0	13.9	86.6	72.2	14.4
精玄米重	(kg/a)	68.6	58.1	10.5	63.7	54.3	9.4
屑米重	(kg/a)	3.7	2.7	1.0	6.5	4.5	2.0
収量平年比	(%)	118	100	18	117	100	17
検査等級		1等	2上	-	1等	2上	-

注1) 平年値は前7ヶ年中、令和4年(最豊)、平成30年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2) 耕種概要

土壌 : 細粒グライ土
 施肥 : 高度化成472全層施肥 N-P₂O₅-K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a
 播種量 : 中苗紙筒=160cc/箱
 栽植密度 : 33.0×12.0cm 25.3株/㎡ 4本植え
 移植方法 : 手植え
 反復 : 2

注3) 登熟歩合は、枝梗や芒を取り除いた粒を比重1.06の食塩水を用いて調査。

注4) 精玄米千粒重、精玄米重および屑米重は、水分15%換算値。使用した篩目は1.90mm。

Ⅲ 果 樹

1. りんご 作況：平年並

事由：平年と比べ、3月の気温が低く、4月の気温が高く推移し、「つがる」、「ハックナイン」、「ふじ」いずれにおいても発芽期は平年より1～3日程度早かった。4月上旬から5月中旬までの気温が高く、展葉期、開花始、満開期、落花期は平年より3～6日早まった。いずれの品種も花芽率は平年よりも高く、開花時期の天候が良好であったため、果そう結実率も高かった。

開花始、満開期が早まったため7月1日時点の果実体積は、いずれの品種でも平年を上回っていたが、7月～8月にかけて少雨であったことにより果実肥大が鈍化した。最終的に、収穫果実の一果重は「つがる」、「ハックナイン」で平年よりやや大

きく、「ふじ」で平年並みであった。

「つがる」、「ふじ」の収穫期は平年並みであり、「ハックナイン」は収穫直前に生理落果が多く発生したことから、平年より6日早く収穫した。

果実品質は、糖度は収量が多かった「つがる」で平年より低かったが、「ハックナイン」、「ふじ」で平年並みであった。硬度は「つがる」、「ハックナイン」で平年並みであったが、「ふじ」で平年より低かった。

病害虫については、腐らん病が平年並みに発生したものの、黒星病の発生は認められなかった。

以上から、着果量は平年以上を確保でき、収穫果実の一果重は平年並みから大きかった一方、果実品質は平年並みからやや劣る品種があり、本年の作況は「平年並」である。

りんごの生育と収量・果実品質

項目	品種 ²⁾	つがる/JM7 ⁴⁾		ハックナイン/JM7		ふじ/JM7	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年
	樹齢	13	11	9	13	9	12
生育経過	発芽期 (月・日)	4.15	4.17	4.14	4.15	4.15	4.18
	展葉期 (月・日)	4.27	4.30	4.19	4.25	4.24	4.28
	開花期 (月・日)	5.12	5.16	5.11	5.15	5.12	5.17
	満開期 (月・日)	5.18	5.23	5.16	5.21	5.18	5.23
	落花期 (月・日)	5.24	5.28	5.23	5.27	5.24	5.28
花芽率 (%)		88.7	71.5	83.5	67.7	81.9	72.1
果そう結実率 (%)		96.4	83.2	90.6	84.1	87.7	82.6
果実体積 ³⁾	7月1日	35.8	21.6	43.5	26.4	27.6	19.6
	平年対比 (%)	166	(100)	165	(100)	141	(100)
	9月1日	249.7	226.1	297.9	235.0	179.8	172.1
	平年対比 (%)	110	(100)	127	(100)	104	(100)
収量	収穫日 (月・日)	9.27	9.25	10.18	10.24	11.12	11.10
	一樹当り収量 (kg)	67.1	33.8	60.9	44.8	46.9	46.1
	収穫果一果重 (g)	332	292	435	352	292	288
果実品質	地色指数 (緑1-8黄)	4.6	4.5	4.4	4.0	4.1	3.8
	着色 (無0-10多)	7.9	8.0	6.7	7.2	7.0	7.5
	硬度 (lbs)	12.7	13.2	12.8	13.1	14.4	16.0
	糖度 (%)	13.3	14.2	14.4	14.4	15.2	15.2
	酸度 (g/100ml)	0.28	0.35	0.58	0.53	0.54	0.52
	蜜入り (無0-4多)	0.0	0.2	0.6	1.7	2.2	2.8
	ヨード (無0-5全面)	1.9	2.2	1.8	2.1	0.5	1.7

注1) 平年値は2014～2023年の10カ年平均である。

2) 「品種」は品種名/台木名として示した。

3) 果実体積 (c m³) = 4/3 π {(縦径+横径)/4}³

4) 「つがる」に落果防止剤使用 (8月30日)